



上谷の大クス

樹齢1000年を超える
埼玉県一の巨木

上谷(かみやつ)の山入(やまいり)集落に根を張る大クス(大楠)は、幹周り15m、高さ30mの巨木です。真夏の日差しを遮るような大きさでも、この大クスの木陰はひんやりと涼しく、自然の大切さを改めて実感させてくれます。

昭和63年度「緑の国勢調査」で、全国巨木ランキング第16位、埼玉県では第1位に認定されました。県の天然記念物に指定されています。



ハイカーに親しまれる足腰の神様
「子ノ権現(ねのごんげん)」

**ハイキングの
聖地として**

越生町は平成28年4月29日に全国で初めて「ハイキングのまち」宣言をしました。多種多様な見どころと、町が誇る色とりどりの花木。これらの環境を活かし、月ごとのおすすすめコースを設定し、ハイキング大会も開催しています。里山ながらのアップダウンがしっかりとある登山道は、登山初心者から熟練者まで幅広く親しまれ、多くの人が訪れます。ハイキングによる観光の振興、地域の活性化、町民の健康づくりを推進し、町全体でハイカーへのおもてなしの心を醸成しています。



右上/大高取山山頂からの眺め
左上/野未張見晴台
(のすばりみはらしだい)
左下/およそ1,500株の花が咲く
あじさい街道



「野山を歩けば、発見がいっぱい！」



低山を中心とした山々に囲まれた越生町。ハイキングのまちとして五感を解放するアウトドア体験を発信しています。